

# 粘着テープによるウンシュウミカン果実の日焼け防止法

8月上旬にウンシュウミカン果実の陽光面に粘着テープを貼付することで、安価で果実の日焼けを軽減できる

## 背景・目的

- ・夏秋季の高温によりウンシュウミカンの日焼け果の発生が増加
- ・日焼け対策は、これまで化繊布の被袋が用いられているが、普及していない
- ・普及性の高い日焼け対策技術の開発への要求が高い
- ・かぼちゃの日焼け対策で、粘着テープ利用が先行して普及、ウンシュウミカンで検証



日焼け果

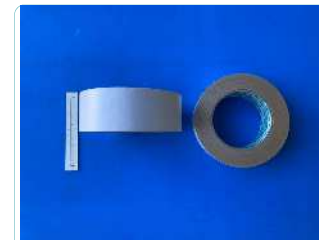


化繊布

## 成果の内容

- ・8月上旬頃に日当たりの良い南向きの果面に粘着テープを貼付すると化繊布と同程度に日焼けを軽減
- ・粘着テープの資材費は、化繊布に比べて、従来の1/3程度と安価
- ・粘着テープ貼付、除去の労働時間は、化繊布による方法と同程度

## 期待される効果



粘着テープ

○日焼け果の発生軽減により、規格外品の減少  
(粘着テープは、商品名 みかんまもるテープとして市販されている)

ウンシュウミカンの所得向上による経営の安定化

○普及対象・範囲

ウンシュウミカン生産者

鹿児島県農業開発総合センター  
果樹・花き部常緑果樹研究室

(R04)

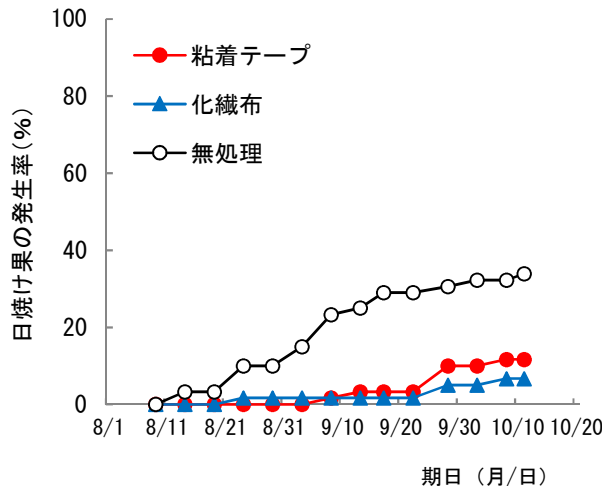


図1 果実に処理する資材の違いと日焼け果の発生推移(令和4年)

表1 各資材の設置及び除去労働時間(延べ)

作業内容	試験区	設置 (h/10a)	除去 (h/10a)	計 (h/10a)
能率優先(R3)	粘着テープ	7.2	2.4	9.6
	化繊布	7.7	2.4	10.1
精度優先(R4)	粘着テープ	21.7	3.7	25.4
	化繊布	17.7	7.2	24.9
平均(R3~4)	粘着テープ	14.5	3.1	17.5
	化繊布	12.7	4.8	17.5

表2 処理にかかる資材代

試験区	資材代 (円/個)	10a当たり換算 資材代 (円)
粘着テープ	0.72	3,508
化繊布	2.44	11,888

注1) 令和3~4年度の実績より、10aあたり処理果実数4,872個(87個/樹×56樹)で試算した。

2) 化繊布の耐用年数は5年で試算した。